

NPO法人 月と風と

活動報告書

2022/04-2023/03



設立 2006年11月29日

拠点 兵庫県尼崎市東園田町4-159-2-102

理事長 清田仁之
理事 4名 / 監事 1名 / 他正会員 8名
[職員] 常勤7名 / 非常勤16名 ※2023年3月末日

キヨタ



Q. いつも腰につけてるあれ
何入ってんねやる？

10年間で4代目！
コーヒー染めのポシェット
気になる中身はー？

団体概要

「月」ように、誰かの力を借り、誰かの道を照らす。
「風」のように、楽しく優しい音楽を奏でる。一人ではなく、みんなと一緒に。

「月と風と」には、そのような意味が込められています。

人は存在そのものが「希望」であると考えた時、しょうがいのある方も、
生きづらさを感じている方も、誰もが誰かの「希望」になりえます。

月と風とでは、そんな、ひととひととの関係性をつくっていきたいと考えています。
重いしょうがいのある方が暮らしやすいまちを、誰にとっても暮らしやすい。

みんなに関わり合うことで、新しい価値をつくっていく。
わたしたちは、そんな地域づくりを目指して活動を続けています。



◇ ミッション（社会で実現したいこと）

重いしょうがいのある人が暮らしやすいまち

◇ ビジョン（ミッションが実現した時の状態）

お互いの違いを楽しみあえる“おもしろがりラリー”があふれている

◇ バリュー（大切にしたい価値観）

みんなに関わり合うことで新しい価値をつくっていく
やってみる / 伝えつづける

楽しげ・おもしろがる・自分から動く・人と関わる・対話をする勇気を持つ
・否定せず聴く & 伝える

活動内容



「ちがいをおもしろがりながら」「ごきげんに暮らせる」社会
ひととひととで関わり、一緒にぎゃははと笑い合いながら、自分らしくいることができる



ヘルパー派遣（生活）

枠にとらわれず思いに寄り添いながら、制度だけでは満たされない
ニーズを発掘し、明日が楽しみになるお手伝いをしています。

「小さく」「たくさん」「えらべる」社会
思いの実現のために、いろんな選択肢がある中で、自分なりに進めることができる



しごとづくり（お店・モノ）

チャリティショップ（古着販売）の運営を通して、しょうがいのある
方の「しごとづくり」とチャリティ文化の醸成を進めています。

「風通しよく」「モノ言える」社会
色んな人と関わる・小さな声大切にされる雰囲気・仕組み・工夫がある



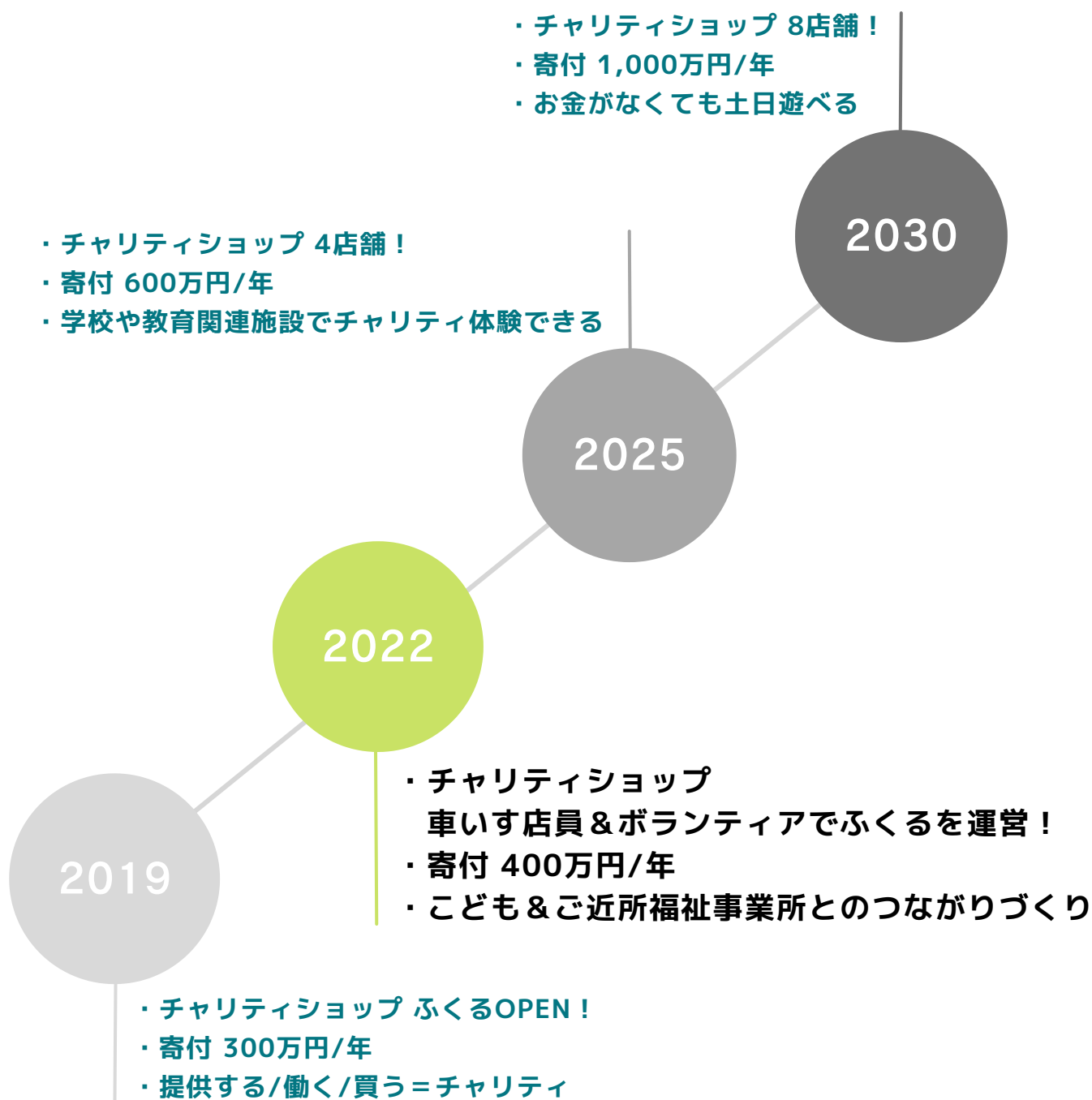
場づくり（表現・関係性）

しょうがいのある方も含めた「みんな」が、楽しく交流できる・自
分らしく表現できる機会を作っています。



■ふくしのまち園田

“おもしろがりラリー”あふれる、チャリティ文化のあるまち



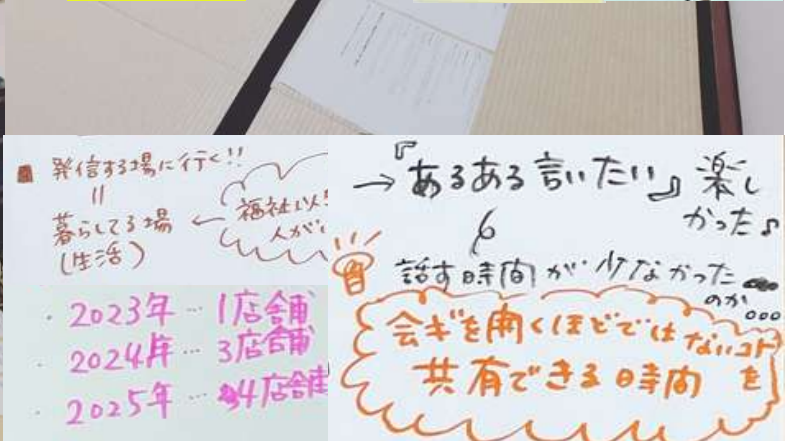
2022年度 活動計画

活動方針：やってみる！

- 表現力・発信力を高め、共感者を増やす -



内 容	達成目標と活動実績
【全体】	
■月1チャレンジ	SNS記事*週3投稿以上*月平均 ⇒ 0.8投稿/週
■シン・シエンvol.3-4	自分発信企画2つ以上 ⇒ 0
■強みを活かした業務改善	各スタッフ2つ以上 ⇒ 0
【運営】	
■理念の浸透	寄付金 1,500,000円 ⇒ 1,063,635円
内部：振返り・全体研修等	古着の寄付 13.5t ⇒ 11.4t
外部：SNS・紙面等	ボランティア 月平均15人以上 ⇒ 40人
【ヘルパー/育成事業】	
■事業の枠を超えた横断的なアイデア出し	次やること1つ以上 ⇒ ○
■ケアスタッフ研修	「おせっかい」1つ以上 ⇒ ○
■強度行動障害支援者養成講座	登録ヘルパー60h増 ⇒ ×
【チャリティショップ】	
■知ってもらおう！	Instagramフォロワー1,000人 ⇒ 912人
Instagram 週1回投稿 / BASE活用	Newボランティア12人 ⇒ 18人
新聞発行 / ガレージセール&仕分祭	売上(店舗) 2,670,000円 ⇒ 2,756,479円
体験会	売上(その他) 380,000円 ⇒ 435,684円
【ミーツ・ザ・福祉事業】	
■11/12開催！	参加者：約2,500人 当日ボランティア：約90人
説明&意見交換会 / オープンミーティング / 新喜劇オーディション / ステージチラ見せ会 / ボランティア説明会 / ポスティング&ポスターお願い / 準備ふりかえり会	出演者：17組 出店者：39組
	ポスター：3,000部 パンフレット：40,000部
	Instagram：76投稿 Facebook：88投稿



2022/05/18 シン・シエン vol.3
『企画のつくり方』講師：若狭健作さん



2022年度 総括

【活動方針】 やってみる！ - 表現力・発信力を高め、共感者を増やす -

1 理念・方針

毎週の方針の読み合わせや四半期ごとのふりかえりの徹底、全体研修の時間確保等により「理念と方針の周知」「スタッフ1人ひとりの違いを理解し合うこと」を重点的に行いました。その中で、それぞれの特性や、理念・方針への共感度・共感ポイント、魅力を感じる・力を入れたい活動等の「違い」を、より深く知ることができました。

しかし、『表現する』『発信する』ことに対する、捉え方や得手不得手の「違いを活かした仕組みの構築」には至っておらず、今後も引き続き、違いや強みを活かし合い、スタッフ自身が楽しみながら活動できるような組織づくりに取り組んでいきたいと思えます。

2 シン・シエン

前年度に引き続き、重いしょうがいのある方の新しい支援を考える『シン・シエン』に取り組みました。今回は、外部講師の方に「企画のつくりかた」を学び、「ミーツ・ザ・福祉」を実践の場とした企画を作ってみるというものでした。外部講師の方からたくさんのヒントをいただいたおかげで、アイディアの段階では日々ケアで関わる利用者さんの顔を思い浮かべながら、いつもより新鮮な視点で考えてみることができました。ただし、実際に企画としてカタチにして「重いしょうがいのある方にミーツ・ザ・福祉を楽しんでもらう」という目的にたどり着いたものは、ほとんどありませんでした。

一方で、今回の取り組みを通じて、重いしょうがいのある方が楽しめる「場所」や「工夫」がまだまだ足りていないこと、周囲の人（支援者や親御さん等）の事情や考え方が大きく暮らしに影響していることを、あらためてスタッフみんなで実感し、そのこと自体は、「自分たちにできること」を問う時のリアリティを少し高めたと感じています。また、実際のミーツ・ザ・福祉の場では、アクセシビリティ向上の視点を取り入れたり、会場に行けない方が遠隔で参加する人型ロボットのコンテンツを実施する等の新しい動きを行うことができました。

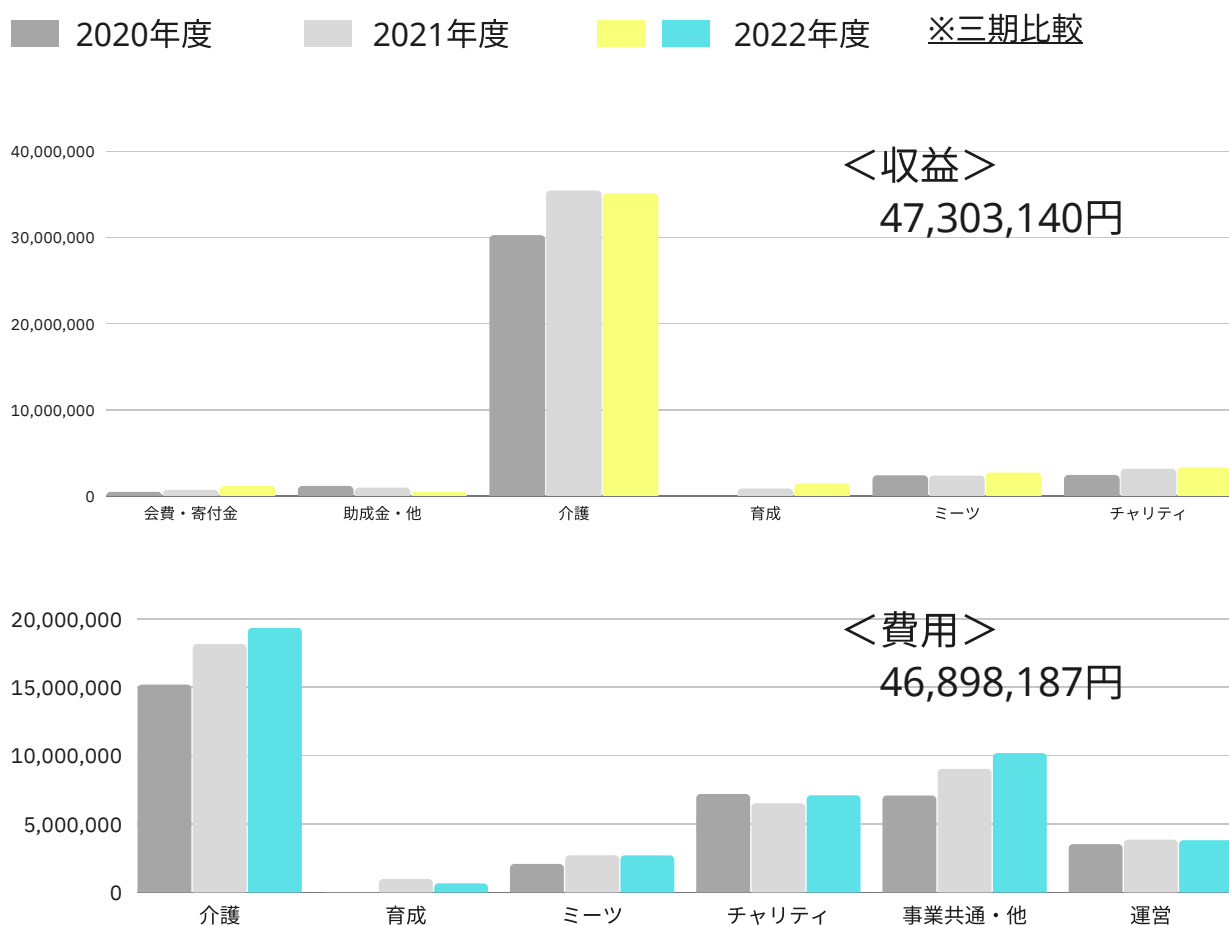
3 財務状況

2022年度は、収益が予算比91.5%前年比101.6%、費用が予算比91.6%前年比105.9%、経常増減額は予算510,230円に対して決算404,953円となりました。

介護収益の増額を見込んだ予算組みでしたが、常勤スタッフを採用することができなかったため、介護収益は予算比88.9%約400万円下回る結果となっています。それに伴い、増額予定だった人件費も予算比90.4%に留まっていますが、強度行動障害支援者養成研修やお仕事体験ツアーの実施等により、登録ヘルパーさんの稼働率が月平均で約50h増加したため、前年比は112.8%となりました。

また、寄付金収益についても増額を見込んでいましたが、予算比70%約45万円届きませんでした。そのため、冬季賞与について、常勤スタッフは50%支給・非常勤スタッフは不支給としています。

その他、強度行動障害支援者養成研修は予算比107.3%と順調に開催を重ねていて、チャリティショップ事業やミーツ・ザ・福祉事業も順調に推移しています。移動支援についても増加傾向にあり、活動を知ってもらえる場面が着実に戻りつつあるのを感じることもできる1年でした。



ヘルパー派遣/育成 事業

【目的】 枠にとらわれず思いに寄り添いながら、制度だけでは満たされないニーズを
発掘し、明日が楽しみになるお手伝いをする

理想の状態

課題

① ヘルパーが制度の枠にとらわれず、
気軽に「おせっかい」をしている

※ 「おせっかい」 = 「制度外」
ヘルパーが自発的に行うこと

• ヘルパーが不足しており「おせっかい」
がおこしにくい。

② 月と風との利用がきっかけで、生活
の幅が広がり、豊かになる選択肢が
広がっている

※ 月と風とが関わらない部分も楽しめている

• 研修や相談の機会が不足しており、
ヘルパー自身の発想や選択肢の幅が
広がっていない。

③ 利用者さんがヘルパーに、責任を感じ
ることなく、やりたいことを気軽に
提案できる

• 他事業との連携や共有が不足してお
り、シフトに反映できていない。



<総括>

● 利用者アンケート

配布や内容の聴き取り、結果に対するアプローチなど、制度にとらわれない月と風とらしい活動に取り組めたと感じており、利用者さんのニーズ開拓にも繋がりました。

● 会議・研修会

「アンケート会議」や、事業の枠をこえて横断的なアイデアを考える「アイデア会議」に加え、滋賀県への「外部研修会」も実施し、スタッフ間のコミュニケーションを増やしながら活動に取り組むことができました。ただし、そのための時間確保が必須になるため、今後は、より一層しっかりとスケジュール管理を行う必要があります。

● 強度行動障害支援者養成研修

今年度は3回実施しました。前年度に比べ認知度が上がっており、安定して受講申し込みを受け付けています。今後も定期的に開催することで、ヘルパー活動以外の安定した収益化につなげていきます。

**強度行動障害
支援者養成研修**

開催回数：3回
(8-9月/11-12月/2-3月)
受講人数：延べ40名

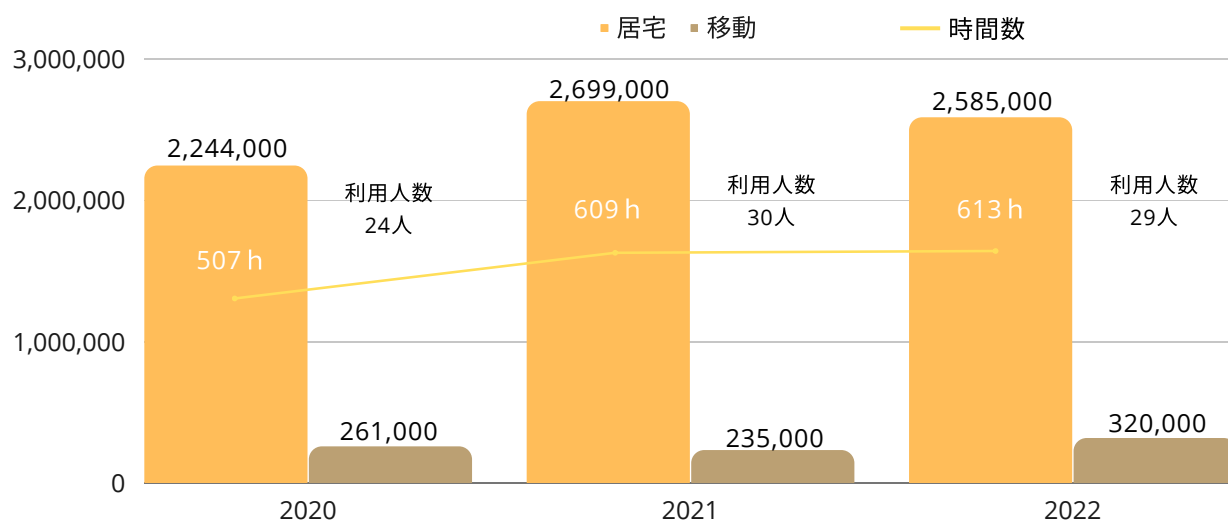


**利用者
アンケート**

実施回数：1回
取り組み内容
・宇宙体験
・家族で外出 他



<三期比較グラフ> ※ 月平均実績



チャリティショップ 事業

【目的】 チャリティショップ（古着販売）の運営を通じて、しょうがいのある方の「しごとづくり」とチャリティ文化の醸成を進める

理想の状態	課題
<p>ふくるが 「いろんな人のふらっと立ち寄れる場所」 「行ってみたいと思える場所」 「自分の居場所だと思える場所」 としてあり続ける</p>	<ul style="list-style-type: none"> SNSでの定期的な発信ができていない。
<p>チャリティが当たり前になっている (チャリティに興味のある人が集まっている/地域のチャリティがクルクル回っている/服だけじゃなく人や交流も)</p>	<ul style="list-style-type: none"> オンラインショップ(BASE)を稼働できていない。 リサイクル量を減らせていない。

誰でも
お店に立てる/お店作りに参加できる



<総括>

● ふくる 運営安定/無人販売好評

車いす店員さんも長い人で2年目となり、安定した店舗運営を行うことが出来ました。また、昨年度から開始した閉店後の無人販売を期間限定ではなく、毎日閉店後に購入していただけるようにしました。

しかし、お客さんからは「買い方がわからない」や「売ってるのかわからない」というお声を頂き、購入方法や無人販売の趣旨説明が不十分であるため、改善の必要を感じています。

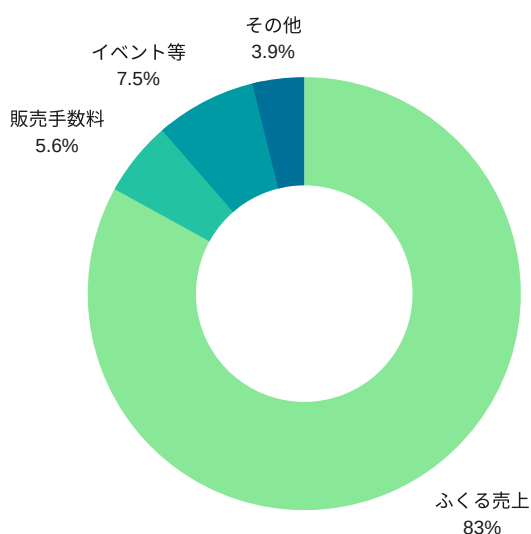
● 広報 Instagram/ふくるからの新聞

チャリティ文化醸成のために、チャリティショップのことをより多くの方に知ってもらう必要があると感じ、そのための広報強化に努めました。

主に、Instagramで日頃のお店の様子やお客さんとの会話、イベント情報等を中心に投稿を行い、さらに、ふくるの顧客層向けに「ふくるからの新聞」を計3号、発行しました。

「ふくるからの新聞」はSNSをまとめただけでなく、車いす店員さんが取材に行き、新たなふくるの魅力を知ってもらえるよう工夫をしました。

<月平均>



●	ふくる売上	2,756,479円
●	販売手数料	185,267円
●	イベント等	250,417円
●	その他	128,120円

4月 立花南生涯学習プラザ オープニングイベント*出店



ふくる店員
似顔絵を描いてもらいました！



5月 ゆるえん祭@ひと咲きプラザ



チャリティショップふくる
\つかしん 出店/

2022年5月21日(土)・5月22日(日)
ロマンチック広場



5月 つかしん*出店 2days

8月 立花南生涯学習プラザ*ファッションショー

めいちゃんありがとう！
みんなて応援しています！



7月 森の自由研究フェス*出店

2022/10-2023/03

仕分け祭&ガレージセール*月1回開催



10月 ボランティア交流会♪



11月 小田SDGsフェス*出店



11月 生駒くらしのブンカサイ*出店

仕分けボランティア*毎週(水)

終わった後は、カルピスで一息



EPIS



3月 接客研修@梅田大坂駅周辺百貨店



2022年度 活動計算書(報告書)

2022年04月01日～2023年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額		
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	86,000		
賛助会員受取会費	3,000		
受取会費計		89,000	
受取寄付金			
資産受贈益			
- 衣料品	3,192,000		
受取寄付金			
- 一般寄付金	1,034,635		
- チャリティショップ用途指定寄付金	29,000		
受取寄付金計		4,255,635	
受取助成金等			
受取国庫補助金			
- 両立支援等助成金	285,000		
受取地方公共団体補助金			
- 障害福祉サービス関連給付金	25,000		
受取助成金等計		310,000	
事業収益			
居宅介護事業収益			
- 介護給付費	30,282,799		
- 処遇改善臨時特例交付金	733,566		
- 自己負担金	168,534		
移動支援事業収益			
- 地域生活支援給付費	3,841,260		
- 自己負担金	16,283		
- 独自派遣料	50,410		
ヘルパー育成事業収益			
- 参加料(イベント/講座等)	1,400,800		
ちいきづくり事業収益			
- 参加料(イベント/講座等)	38,040		
ミーツ・ザ・福祉事業収益			
- 委託料	2,355,000		
- 出店料	199,500		
- 売上高	149,500		
チャリティショップ事業収益			
- 参加料	99,120		
- 販売手数料	185,267		
- 衣類品売上高	2,431,879		
- 雑貨品売上高	318,600		
- その他品売上高	6,000		
- その他売上高	250,417		
事業収益計		42,526,975	
その他収益			
受取利息	59		
雑収益	121,471		
その他収益計		121,530	
経常収益合計			47,303,140

2022年度 活動計算書(報告書)

2022年04月01日～2023年03月31日(配賦)

特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科目	金額	
(2)経常費用		
事業費		
【人件費】		
役員報酬	3,975,588	
給料手当	23,860,713	
賞与	2,537,000	
法定福利費	3,680,397	
福利厚生費	144,862	
【人件費計】		34,198,560
【その他費用】		
売上原価	3,192,000	
諸謝金	360,774	
旅費交通費	84,618	
会議費	180,671	
交際費	9,537	
通信運搬費	270,278	
広告宣伝費	324,390	
消耗品費	573,625	
研修費	94,140	
印刷製本費	173,371	
修繕費	57,090	
燃料費	81,694	
賃借料	541,505	
保険料	241,588	
水道光熱費	163,005	
支払地代家賃	1,771,735	
委託費	505,190	
支払手数料	243,815	
租税公課	31,690	
【その他費用計】		8,900,716
事業費計		43,099,276
運営費		
【人件費】		
役員報酬	441,732	
給料手当	2,265,259	
【人件費計】		2,706,991
【その他費用】		
旅費交通費	1,730	
会議費	8,172	
通信運搬費	107,061	
新聞図書費	2,110	
研修費	17,500	
印刷製本費	41,852	
水道光熱費	40,751	
支払地代家賃	277,934	
委託費	438,270	
諸会費	84,000	
支払手数料	66,540	
雑費	6,000	
【その他費用計】		1,091,920
運営費計		3,798,911
経常費用合計		46,898,187
当期経常増減額		404,953
2.経常外増減の部		
(1)経常外収益		
経常外収益合計		0
(2)経常外費用		
固定資産除却売却損		
固定資産除却損	204,560	
固定資産除却売却損計		204,560
経常外費用合計		204,560
当期経常外増減額		-204,560
税引前当期正味財産増減額		200,393
法人税、住民税及び事業税	82,000	
当期正味財産増減額		118,393
前期繰越正味財産額		9,696,789
次期繰越正味財産額		9,815,182

2022年度 貸借対照表

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人 月と風と 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
現金	35,480		
小口現金	60,000		
普通預金	5,923,076		
未収金	7,137,705		
流動資産合計		13,156,261	
固定資産			
車両運搬具	1		
保証金	40,000		
リサイクル預託金	8,070		
固定資産合計		48,071	
資産合計			13,204,332
負債の部			
流動負債			
未払金	2,834,703		
預り金	554,447		
流動負債合計		3,389,150	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			3,389,150
正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,696,789	
当期正味財産増減額		118,393	
正味財産合計			9,815,182
負債及び正味財産合計			13,204,332

2022年度 特定非営利活動に係る事業の会計 財産目録

2023年3月31日現在
特定非営利活動法人 月と風と

(円)

科 目	摘 要	金 額	
資産の部			
流動資産			
現金		35,480	
小口現金		60,000	
--レジ現金		60,000	
普通預金		5,923,076	
--近畿労働金庫		3,783,721	
--ゆうちょ銀行		1,713,948	
--振替口座		425,407	
未収金		7,137,705	
--介護給付費		6,215,788	
--尼崎市(移動)		728,024	
--西宮市(移動)		46,509	
--自己負担金		61,426	
--伊丹(移動)		4,380	
--他		55,728	
--販売手数料		14,350	
--衣類売上高		4,000	
--その他売上		7,500	
流動資産合計			13,156,261
固定資産			
車両運搬具		1	
保証金		40,000	
リサイクル預託金		8,070	
固定資産合計			48,071
資産合計			13,204,332
負債の部			
流動負債			
未払金		2,834,703	
--給料・交通費		2,377,655	
--社会保険料		261,780	
--諸経費		195,268	
預り金		554,447	
--源泉所得税(給与)		132,390	
--住民税		75,600	
--社会保険料		346,457	
流動負債合計			3,389,150
固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			3,389,150
正味財産合計			9,815,182

計算書類の注記

特定非営利活動法人 月と風と

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は5,861,990円であり、年度末に用途等が制約された正味財産はありません。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
両立支援等助成金	0	285,000	285,000	0	スタッフの育休取得支援として使用
物価高騰対策福祉施設等支援給付金	0	25,000	25,000	0	居宅介護事業にかかる費用として使用
チャリティショップ事業寄付金	0	29,000	29,000	0	チャリティショップ事業にかかる費用として使用
合計	0	339,000	339,000	0	

3 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	756,000	0	0	756,000	△ 756,000	0
福祉車両	1	0	0	1	0	1
保証金	0	40,000	0	40,000	0	40,000
投資その他の資産						
リサイクル預託金	8,070	0	0	8,070	0	8,070
合計	764,071	40,000	0	804,071	△ 756,000	48,071